

New Hope

～札幌ペンテコステ教会ニュース～

2015年9月

人間について、聖書に次のように書かれています。

「義人はいない、ひとりもない。

悟りのある人はいない、

神を求める人はいない。

すべての人は迷い出て、

ことごとく無益なものになっている。善を行う者はいない、ひとりもない。

彼らののどは、開いた墓であり、／彼らは、その舌で人を欺き、

彼らのくちびるには、まむしの毒があり、

彼らの口は、のろいと苦い言葉とで満ちている。

彼らの足は、血を流すのに速く、／彼らの道には、破壊と悲惨とがある。

そして、彼らは平和の道を知らない。

彼らの目の前には、神に対する恐れがない」。

(新約聖書 ローマ人への手紙 第3章 10～18節)

札幌ペンテコステ教会

主任牧師 矢巻 邦彦

札幌市中央区南 14 条西 18 丁目 4-5

TEL&FAX 011-561-5072

<http://sapporopk.com/>

愛されている罪人

人間はみな『罪ある者』であり、神の義を前にしては、『滅んで当然』の存在であると言うのです。その一方で、次のように書かれています。

神はそのひとり子を賜ったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。

神が御子を世につかわされたのは、世をさばくためではなく、御子によって、この世が救われるためである。

彼を信じる者は、さばかれぬ。信じない者は、すでにさばかれている。神のひとり子の名を信じることをしないからである。

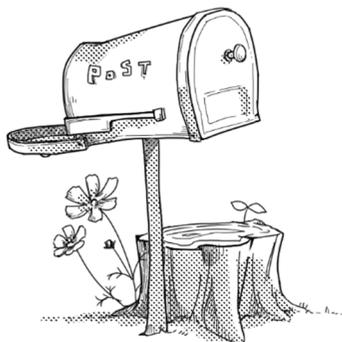
そのさばきというのは、光がこの世にきたのに、人々はそのおこないが悪いために、光よりもやみの方を愛したことである。

悪を行っている者はみな光を憎む。そして、その



おこないが明るみに出されるのを恐れて、光にこようとはしない。

(新約聖書 ヨハネによる福音書 第3章 16~20節)



『御子』とは、「イエス・キリスト」を指した言葉です。神さまは、人を愛するゆえに、イエス・キリストを十字架に架け、人の身代わりとなって死なせ、人が新しくされるためにキリストを復活させました。人間は皆『罪人』ですが、愛されています。神の愛であるイエス・キリストを信じる人は裁きをまぬがれ、信じない人は罪人としての裁きを受ける。そう書いてあるのです。人は皆、『愛されている罪人』です。その愛を受け入れるかどうかは、人の自由意志に

任されています。あなたは、どうしますか？

祈ってみましょう

天地を造った唯一の神さま、神さまが私を愛し、滅びないことを願っておられると読みました。イエス・キリストのことをよく知り、信じることができるようにお助けください。

教会の定期集会のご案内

GP クラブ こどものためのプログラムです。(毎週日曜日 あさ 9:00~10:00)
毎月1回、日曜日の午後に「GP ワークショップ」を開催しています。

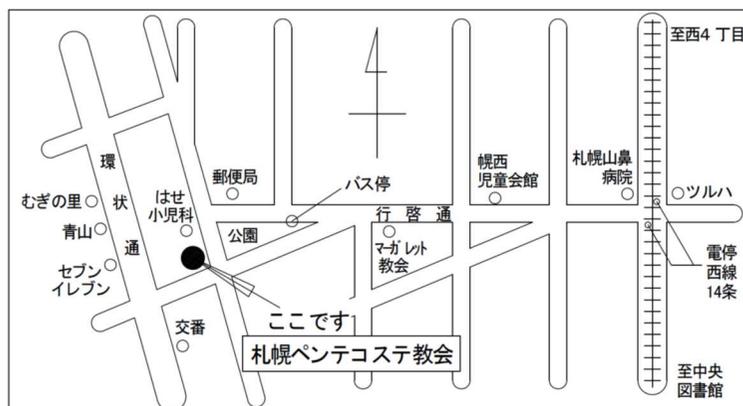
**聖日礼拝
祈り会** 聖書を通じて神さまを知ります。(毎週日曜日 あさ 10:30~12:00)
神さまを賛美し祈り新たな力を受けます。

(第2・4木曜日 よる 7:00~8:30)

どの集まりも参加自由、入場無料です。それぞれ、自由献金の時間がありますが、「感謝の気持ちをささげる」ためのもので、各自の自由です。

教会のホームページ <http://sapporopk.com/>

NewHope のバックナンバーを読んだり、教会の様子を見たりすることができます。



【教会へのアクセス】

西4丁目電停から市電にて
西線14条下車

JR 札幌駅札幌ターミナルから、
JR 北海道バス啓明線[51]にて
南14条西17丁目下車